

提出された議案を
くわしく審査!

もっと知りたい
ちっごの課題

常任委員会報告 サンコア 利用料改定へ



建設経済委員会

委員会では、補正予算2件、市道路線の認定について審査し、全員賛成にて原案可決した。

農地利用最適化推進委員の役割は

農林水産業費の補正については、農地中間管理事業に要する経費。6地区が補助交付要件を満たしたことに伴い、県の農地集積・集約化対策事業費補助金が採択されたため増額するもの。

問 農地集積に関して、農地利用最適化推進委員の役割は。
答 今回の集積は、農事組合法人の利用権設定の更新が主であったため、あえて農地利用最適化推進委員の役割は。

進委員との連携は取っていない。新たな集積に関しては、必要に応じて農政課、農業委員会、農地利用最適化推進委員で連携していきたい。

JRは駅トイレの費用を負担しないのか

駅周辺施設清掃業務委託料は羽犬塚駅前、筑後船小屋駅前に設置しているトイレの清掃業務を委託するため、平成29年度内に業者選定等を行うもの。

問 駅トイレはJRが設置すべきではないか。
答 JRは改札口の中にしかトイレを設置しないという考えがある。

二川校区コミュニティ自動車運行開始

コミュニティ自動車運行料は二川校区コミュニティ協議会において、30年度早期からコミュニティ自動車の運行を開始する。

厚生委員会

委員会では、一般会計及び特別会計の補正予算4件を審査し、全員賛成にて原案可決した。

自立支援給付費の伸びが増加

自立支援給付に要する経費について、扶助費8725万円の増額は、障害福祉サービス（居宅介護、就労継続支援、放課後等デイサービスなど）利用者の増加に伴うもの。

問 補正額が大きいが、制度が大幅に変わったのか。
答 変わっていない。サービスを受ける人が増えたのが主な原因で、当初予算より7.5%の伸びがあった。毎年6〜7%

の伸びがあり、人員やサービスの量は増加している。

0〜2歳児の待機児童対策に期待

児童措置費の補正は、保育士の処遇改善での加算措置の創設や、小規模保育事業施設の増加に伴う委託料等を増額するもの。

問 小規模保育施設の数と保育士の数は。
答 新設した4施設と合わせて6施設ある。定員は19人以下なので、保育士は4〜5人配置される。

問 これからの展開は。
答 市としては、0〜2歳児を主に預かってもらう施設なので助かっている。施設建設についての問い合わせはあっている。

保険料の二重払い防止のために周知を

国民健康保険特別会計の一般被保険者保険料還付及び加算金の補正は、

するため、29年度内に業者選定等を行うもの。平成30年度から平成34年度までの5年間の契約。

5年間のリース料300万円に、保険料は含まれるのか。

答 自賠責保険は含まれているが、任意保険は納車されてからの契約になるので含まれていない。



市が設置している羽犬塚駅前トイレ

社会保険加入に伴う国保資格喪失の手続き漏れが原因で、長期間の二重加入者が例年より多数発生し、予算不足となったため増額するもの。

二重加入を防ぐ対策は。

答 国保から社保への切り替え手続きについて、広報やホームページでの周知を徹底していきたい。



市内にある放課後等デイサービス施設

総務文教委員会

委員会では、条例制定7件、補正予算1件、専決処分承認1件について審査し、全員賛成、賛成多数にて原案可決した。

サンコア利用料改定へ

筑後市中央公民館条例の一部改定は、受益者負担適正化の観点から、中央公民館使用料をおおむね半額にしたうえで、納付方法、減免、還付の規定を見直すもの。

問 中央公民館（サンコア）の使用料を前納とした理由は。
答 これまで、複数予約や安易なキャンセルがあった。使用料を前納とし、これを改善することで効果

率的な貸館運用ができる。
問 市民の理解を進めるには、中央公民館をはじめ他の公共施設の維持費を公開すべきでは。
答 公共施設マネジメントにおいて、施設ごとの維持費などのカルテ作成を行い、「見える化」するようにしたい。

保育士の待遇改善へ

一般会計補正予算の歳入、子どもための教育・保育給付費（国・県負担金）については、保育士の待遇改善のためのもので、市にも4分の1の負担が求められている。

問 市の負担について、国からの財源措置は。
答 国から交付される普通交付税の中に一部が入っていると考えている。

就学援助の現状は

要保護児童・生徒に要する経費については、就学援助認定見込み者数の増加や給食費、

新入学学用品費の単価の引き上げにより補正するもの。
問 対象児童生徒数の状況と増加理由は。
答 小・中学校ともに当初の見込みを超えている。主な理由は転入、離婚、働けなくなったことなどによるもの。



保育士の待遇改善へ